



あさなひ

浅小HP

令和6年4月5日（金）No.1

文責：校長 三洲 龍太

149年目の浅内小スタート

令和6年度、浅内小学校149年目がスタートしました。新任式で、子どもたちの輝く瞳や話を聞く真剣な表情に触れるとともに、校歌の美しい歌声を聞き、素晴らしい学校に赴任した大きな喜びを感じています。

新任式では、児童代表として6年武田明璃さんが、新任者に歓迎の言葉を話してくれました。



私たちの浅内小学校は、緑豊かな自然に囲まれ、とてもすてきな学校です。特に、メディアセンターからは、季節ごとに違った風景を見ることができて最高です。また、秋田杉がたくさん使われている校舎は木の温もりであふれています。そして、浅内小学校は、何よりも、学年関係なくみんな仲がいです。この恵まれた環境の中で、全校で協力しながら学校生活を送っています。

これから私たちは、この浅内小学校を楽しく、よりよくしていくためにがんばります。新しくいらした先生方と様々な行事で楽しい思い出をつくったり、いっしょに学習したりしていくのが楽しみです。

これからどうぞよろしくお祈いします。

令和6年度定期人事異動により、4名の教職員が新たに赴任しました。保護者の皆様、地域の皆様、これからよろしくお祈いいたします。

新任の教職員	担当	居住地	前任校
三洲 龍太 校長	経営全般	能代市	能代市教育委員会
嵯峨裕美子 教頭	校務全般	能代市	能代市立湊城南小学校
松山 裕子 教諭	学習指導	能代市	能代市立二ツ井小学校
児玉千帆子 事務員	印刷業務等	能代市	能代市立能代第一中学校

初日から素直でのびのび活動している子どもたちから、たくさんのパワーをもらいました。これから、子どもたち、教職員、保護者、地域の方々と力を合わせ、「自分たちの学校」である伝統ある浅内小をますます発展させていきます。力を貸してください。（三洲）

湊城南小学校から来ました。11年前、浅内小学校に勤務していました。ネギの栽培、ナゴメハギの探究等、楽しい思い出を思い出しました。キラキラした瞳の子どもたちの力を一層伸ばせるよう、力を尽くします。どうぞよろしくお祈いします。（嵯峨）

二ツ井小学校から来ました。元気な子どもたちに会えて、とても嬉しいです。「まちがいは宝」を合い言葉に、一人一人が輝く笑顔になる「楽しい授業」を、子どもたちと一緒に作っていきたいと思います。どうぞよろしくお祈いします。（松山）

はじめまして。能代第一中学校からまいりました児玉千帆子と申します。小学校で勤務するのが初めてなので、浅内小学校の皆さんと一緒に成長していけたらよいと思います。どうぞよろしくお祈いいたします。（児玉）

◎担任等の紹介

1年松組	近藤 睦子	3・4年松組	清水 優
1・3年梅組	熊谷 祐子	5・6年松組	高橋 美優
2年松組	白鳥 郁子	教務主任	嶋田 康弘
2・4年竹組	高橋 遼太	主に図工担当	松山 裕子
2年桜組	相澤 清子	主に書写担当	高橋 るり子
事務職員	田村 恵美子	養護教諭	野呂 和美


この他に、特別支援教育支援員の大塚真理子、図書支援員の斉云、心の教室相談員の三留里子、校務員の菅原勉、事務員の児玉千帆子、以上のメンバーで1年間頑張っています。

合い言葉は「浅内小は家族」

新任式に引き続き、1学期始業式が行われ、私から以下のような今年度の合い言葉を紹介しました。

あ ことば
令和6年度の合い言葉は

浅内小学校は家族



さて、今日の始業式では、浅内小に関わる子どもたち、先生方、お家の人、地域の方にぴったりの合い言葉を考えました。それは、「浅内小学校は家族」です。

浅内小学校は家族だから…


- ・友だちががんばったときや成功したとき、「おめでとう」といっしょに喜び合えます。
- ・困ったときや苦しいとき、友だちや先生に「助けて」と言えます。
- ・困っている人や苦しんでいる人がいたら、「大丈夫」と優しく声をかけてあげます。

浅内小は家族だから、友達ががんばったときや成功したとき、「おめでとう」と一緒に喜び合えます。家族だから、困ったときや苦しいとき、友達や先生方に「助けて」と言えます。家族だから、困っている人や苦しんでいる人がいたら、「大丈夫」と優しく声を掛けてあげます。家族はいつも皆さんを温かく応援しています。だから、皆さんは安心して勉強や運動に取り組んでください。


だれ がっこう
浅内小は誰の学校ですか？

↓

わたし がっこう
私たちの学校



かぞく がっこう
家族の学校



もし「浅内小は誰の学校ですか？」と聞かれたら、自信をもって「私たちの学校です。」又は「家族の学校です。」と答えてほしいと思います。

浅内小に関わる全ての人を家族として考えることで、子どもたちは安心して学校生活を送ることができるのではないかと考えております。どの子どものことも家族みんなで育てていきたいと考えております。

新年度、本校の家族が増えました。3松の大森樹真くんです。全校の仲間からの質問に元気に答えていました。また、昼休み、友達と元気に遊ぶ姿が見られ、嬉しく思いました。また、6松の芹田紗弥香さんの児童代表あいさつでは、学校のリーダーとして役割を果たすことや、学校行事等において6年生みんなと協力したことについて堂々と発表しました。

初日、穏やかな日差しの中、最高のスタートを切ることができました。



6松 芹田紗弥香さん 3松 大森樹真さん